

福岡県損害保険防犯対策協議会筑豊部会総会を開催

～筑豊地域の各警察署と不当不正請求根絶に向けた連携を確認～

一般社団法人日本損害保険協会九州支部では、1月30日(火)15時00分から飯塚市の「のがみプレジデントホテル」において、福岡県損害保険防犯対策協議会筑豊部会第43回定期総会を開催し、来賓・顧問・会員など52名の出席がありました。

開会にあたり、福岡県損害保険防犯対策協議会筑豊部会 小島 信一 部会長（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 理事・福岡支店長）より、関係各位の支援・協力への感謝の意を表明するとともに、本協議会の使命を果たすべく、関係機関・団体と連携し、不当不正請求の排除と保険犯罪の防止に向けて、より一層の努力をして参りたい。」との挨拶がありました。

次に、来賓の福岡県飯塚警察署 林署長より、「SNSを利用し、犯罪ごとに離合集散する匿名性の高い集団、匿名流動型犯罪グループが、暴力団組織の配下や横並びの関係となり、強大な犯罪組織とした資金獲得を行っている状況である。反社会勢力や新たな犯罪組織の排除対策を講じているが、皆様からの早い段階での情報提供が必要不可欠である。引き続き県警察と情報連携願いたい。」と挨拶がありました。

続いて、福岡県弁護士会民事介入暴力対策委員会 大竹委員から「暴力団関係の相談が減っている反面、半グレによる詐欺行為等の相談が増えている。今後も関係機関と協力しあらゆる暴力、不当不正な請求の排除を目指し、より一層の努力を続けていく。」と挨拶をいただきました。

また、福岡県損害保険代理業協会筑豊支部 大坪支部長からも「地域のお客様に最も身近な保険代理店は、特殊詐欺など反社会的勢力等が深く関係している犯罪による被害者を一人でも少なくするため、知りえた情報は警察関係者や保険会社等へすばやく共有し、反社会的勢力に該当する人物・団体とは一切の関係を持たない。」との決意表明がありました。

本部会の田中幹事からは2023年度の協議会活動の報告があり、「保険金詐欺や保険金の不当・不正請求は、請求者自らや第三者である専門家が関与する架空・水増しによる請求や保険事故の偽装など、巧妙化・多様化の傾向が見受けられる。お客様の信頼に応えるべく、県警ならびに関係機関のご支援を仰ぎながら、不正・不当請求者の排除に向けた取組みを推進していく。」旨の決意表明がありました。

講演では、福岡県警察本部暴力団対策部組織犯罪対策課 小野暴力団排除対策官から、「県内の暴力団情勢等について」をテーマにご講演頂きました。

最後に当部会の辻中幹事から決議文が読み上げられ、採択されました。

損保協会九州支部では、福岡県警察や関係機関と連携し、民事介入暴力対策および不当不正請求対策を進め、健全な損害保険事業の運営を通じた地域の安全・安心に貢献してまいります。

なお、総会の式次第は次の通りです。

福岡県損害保険防犯対策協議会 筑豊部会第43回総会 式次第

1. 主催者挨拶
防犯対策協議会筑豊部会 小島 信一 部会長（あいおいニッセイ同和損保社）
2. 来賓紹介
3. 来賓ご祝辞
福岡県飯塚警察署 署長 林 礼二 様
福岡県弁護士会 民事介入暴力対策委員会 委員 大竹 健太郎 様
福岡県損害保険代理業協会筑豊支部 支部長 大坪 一幸 様
4. 活動報告
防犯対策協議会筑豊部会 田中 代表幹事（A I G損保社）
5. 講演 「県内の暴力団情勢等について」
福岡県警察本部暴力団対策部組織犯罪対策課 暴力団排除対策官 小野 賢一 様
6. 決意表明
防犯対策協議会筑豊部会 辻中 康平 代表幹事（あいおいニッセイ同和損保社）
7. 閉会の辞
防犯対策協議会筑豊部会 小林 康一郎 代表幹事（三井住友海上社）



福島幹事による司会



小島部会長による開会の辞



林署長の挨拶



大竹委員の挨拶



大坪支部長の挨拶



田中幹事による経過報告等



小野暴力団排除対策官
による講演



辻中幹事から副島刑事管理官
へ決意表明



小林幹事による閉会の辞